



2023年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年2月3日

上場会社名 NOK株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7240 URL <https://www.nok.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 鶴 正雄
 問合せ先責任者 (役職名) IR部 部長 (氏名) 五十嵐 清史 TEL 03-5405-6372
 四半期報告書提出予定日 2023年2月10日 配当支払開始予定日 -
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第3四半期の連結業績（2022年4月1日～2022年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第3四半期	540,215	6.7	15,078	△35.1	23,903	△30.0	13,529	△28.3
2022年3月期第3四半期	506,252	16.2	23,240	348.6	34,132	388.4	18,879	-

(注) 包括利益 2023年3月期第3四半期 17,759百万円 (△47.2%) 2022年3月期第3四半期 33,637百万円 (20.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第3四半期	78.61	-
2022年3月期第3四半期	109.15	-

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第3四半期	854,610	557,349	59.0
2022年3月期	857,324	554,355	58.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第3四半期 504,091百万円 2022年3月期 502,262百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	-	25.00	-	35.00	60.00
2023年3月期	-	25.00	-	-	-
2023年3月期（予想）	-	-	-	25.00	50.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の連結業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	717,400	5.1	13,700	△56.3	23,200	△49.7	10,500	△59.4	61.01

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年3月期3Q	173,138,537株	2022年3月期	173,138,537株
2023年3月期3Q	1,987,136株	2022年3月期	169,991株
2023年3月期3Q	172,103,200株	2022年3月期3Q	172,968,572株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としての実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、添付資料P. 2「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 財政状態及び経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 財政状態及び経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国を取り巻く経済環境は、新型コロナウイルス感染拡大による中国でのロックダウンや半導体等の部品供給不足の影響で経済活動が一時収縮するも、段階的に持ち直しの動きがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ紛争の長期化等による原材料価格・エネルギー価格の高騰、インフレ加速に対する各国の金融政策などに加え、中国の新型コロナウイルスに対する政策転換を背景に、為替動向と景気の先行き不透明感が拭い切れない状況となっております。

自動車業界は、中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響により国内外の生産が一時落ち込んだものの、第2四半期連結会計期間以後、緩やかな回復基調にあります。しかしながら、未だ半導体不足等の影響は継続しており、先行き不透明な状況となっております。

電子機器業界は、半導体等の部品不足の影響は緩和されてきたものの、スマートフォン、ハードディスクドライブの需要は減少しました。

このような環境の中、当社のセグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

シール事業におきましては、自動車向けは、第1四半期連結会計期間における中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響はあったものの、現在は回復基調にあります。加えて、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響が大きく、販売は増加しました。一般産業機械向けは、建設機械向けにおいて中国のロックダウンの影響があったものの、国内の工作機械向け等の需要は堅調に推移しました。また、為替変動や原材料価格の高騰に伴う売価転嫁の影響により、販売は増加しました。

その結果、売上高は2,613億7千1百万円（前年同期比4.9%の増収）となりました。営業利益は、売価転嫁を上回る原材料価格並びにエネルギー価格の高騰等により、150億5千8百万円（前年同期比42.7%の減益）となりました。

電子部品事業におきましては、自動車向けは、中国のロックダウン、半導体等の部品不足の影響はあったものの、需要は増加しました。高機能スマートフォン向けは、中国の一部都市における新たなロックダウンの影響で、需要は減少しました。ハードディスクドライブ向けの需要は減少しました。全体を通して為替変動の影響が大きく、販売は増加しました。

その結果、売上高は2,564億6千6百万円（前年同期比7.8%の増収）となりました。営業損失は、人件費の削減、為替の影響により、11億8千8百万円（前年同期は39億2千8百万円の営業損失）となりました。

その他事業におきましては、特殊潤滑剤の需要が堅調に推移したことに加えて、事務機向け製品の需要回復、および為替変動の影響が大きく、販売は増加しました。

その結果、売上高は223億7千7百万円（前年同期比16.2%の増収）となりました。営業利益は、12億2百万円（前年同期比32.0%の増益）となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績につきましては、売上高は5,402億1千5百万円（前年同期比6.7%の増収）、営業利益は150億7千8百万円（前年同期比35.1%の減益）、経常利益は239億3百万円（前年同期比30.0%の減益）、親会社株主に帰属する四半期純利益は135億2千9百万円（前年同期比28.3%の減益）となりました。

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、8,546億1千万円となり、前連結会計年度末対比で27億1千3百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が増加したものの、現金及び預金と保有株式の時価下落により投資有価証券が減少したことによるものです。

負債合計は2,972億6千1百万円となり、前連結会計年度末対比で57億7百万円の減少となりました。これは主に、短期借入金、長期借入金が増加したものの、買掛金と未払法人税等が減少したことによるものです。

純資産は前連結会計年度末対比で29億9千4百万円増の5,573億4千9百万円となり、自己資本比率は59.0%となりました。これは主に、配当の支払いやその他有価証券評価差額金の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上や為替相場の変動に伴い為替換算調整勘定が増加したことによるものです。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、見直しを行った結果、売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益を前回予想値より下方修正しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	113,085	97,283
受取手形及び売掛金	151,015	149,621
電子記録債権	18,489	22,713
棚卸資産	111,261	126,073
その他	13,323	14,686
貸倒引当金	△132	△143
流動資産合計	407,043	410,234
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	88,204	89,990
機械装置及び運搬具(純額)	102,894	107,944
その他(純額)	58,103	51,998
有形固定資産合計	249,203	249,933
無形固定資産	3,971	4,019
投資その他の資産		
投資有価証券	163,644	151,960
退職給付に係る資産	1,869	2,257
その他	31,733	36,342
貸倒引当金	△142	△137
投資その他の資産合計	197,105	190,422
固定資産合計	450,280	444,376
資産合計	857,324	854,610

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	62,568	57,502
短期借入金	60,545	62,651
未払法人税等	6,924	1,707
賞与引当金	11,148	8,493
その他	61,150	63,002
流動負債合計	202,337	193,357
固定負債		
長期借入金	10,398	15,453
繰延税金負債	9,404	8,544
退職給付に係る負債	73,355	71,697
事業構造改善引当金	579	—
役員株式給付引当金	—	259
その他	6,893	7,948
固定負債合計	100,632	103,904
負債合計	302,969	297,261
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,335	23,335
資本剰余金	23,591	23,591
利益剰余金	365,880	369,077
自己株式	△230	△2,461
株主資本合計	412,577	413,543
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,663	52,218
為替換算調整勘定	34,263	41,277
退職給付に係る調整累計額	△5,243	△2,948
その他の包括利益累計額合計	89,684	90,547
非支配株主持分	52,092	53,258
純資産合計	554,355	557,349
負債純資産合計	857,324	854,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
売上高	506,252	540,215
売上原価	420,105	456,910
売上総利益	86,147	83,304
販売費及び一般管理費	62,907	68,226
営業利益	23,240	15,078
営業外収益		
受取配当金	2,342	2,677
為替差益	3,809	724
持分法による投資利益	3,630	5,151
その他	2,822	3,115
営業外収益合計	12,605	11,669
営業外費用		
支払利息	1,294	1,988
その他	417	855
営業外費用合計	1,712	2,844
経常利益	34,132	23,903
特別利益		
固定資産売却益	201	1,468
投資有価証券売却益	0	3,830
特別利益合計	201	5,298
特別損失		
固定資産除却損	562	1,556
事業構造改善費用	—	731
その他	77	50
特別損失合計	639	2,338
税金等調整前四半期純利益	33,695	26,863
法人税等	11,120	10,283
四半期純利益	22,574	16,580
非支配株主に帰属する四半期純利益	3,695	3,051
親会社株主に帰属する四半期純利益	18,879	13,529

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)
四半期純利益	22,574	16,580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,464	△8,471
為替換算調整勘定	6,213	6,393
退職給付に係る調整額	1,520	2,122
持分法適用会社に対する持分相当額	863	1,133
その他の包括利益合計	11,062	1,179
四半期包括利益	33,637	17,759
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,657	14,392
非支配株主に係る四半期包括利益	4,979	3,367

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、一部の連結子会社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日 至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	249,097	237,905	19,250	506,252	—	506,252
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,712	14	395	2,122	△2,122	—
計	250,810	237,919	19,645	508,375	△2,122	506,252
セグメント利益又は損失(△)	26,258	△3,928	910	23,241	△1	23,240

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△1百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日 至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	シール事業	電子部品 事業	その他事業			
売上高						
外部顧客への売上高	261,371	256,466	22,377	540,215	—	540,215
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,568	29	425	2,023	△2,023	—
計	262,939	256,495	22,803	542,239	△2,023	540,215
セグメント利益又は損失(△)	15,058	△1,188	1,202	15,072	5	15,078

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額5百万円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。